

テロ及び暴力的過激主義対策に関する G7 行動計画 (骨子)

前文

- 国際社会は、テロ対策について取るべき行動の広範なリストを既に作成しているが、必ずしもこれら全ての潜在力が最大限活用されてはいない。G7 は、国際社会によるテロへのより実効的な対処を容易にするために、特定の重大なギャップに焦点をあてることを決定。
- G7 は、暴力的過激主義への対処の必要性を強調。
- G7 は、国内法や国際義務に従いつつ、以下の具体的な行動を取ることにコミット。

行動1: テロ対策

- 安全保障理事会の関連決議の履行
- 情報共有と協力 (G7 関係当局間の情報共有強化。インターポールの各種データベースの活用, 国際的な司法協力の強化)
- 国境警備 (関係当局間の協力強化, 関連プログラム (世界税関機構セキュリティ・プログラム等) の利用, 乗客予約記録等の活用)
- 航空保安 (国際民間航空条約が定める標準, 勧告の履行等, 能力育成等)
- テロ資金対策 (情報交換・協力の促進, 将来的な基準強化の検証, 対象を特定した金融制裁実施の協調, FATF 強化への支持)
- 文化財の不正取引 (テロ組織の支配地域に由来する文化財の不正取引阻止の努力, インターポールの関連データベースの拡大・利用)
- 民間部門との連携 (インターネット関連企業等との連携, 美術市場や収集家に対する文化財不正取引阻止のための協力呼びかけ)

行動2: 社会における (暴力的過激主義に代わる) 他の意見を表明させる力と寛容の促進

- 暴力的過激主義防止に関する国連事務総長行動計画の支持
- テロ及び暴力的過激主義対策を推し進めるための国連のリーダーシップのあり方をレビュー
- 教育等を通じた異文化間, 異宗教間の対話や理解を通して多元的共存, 寛容, ジェンダー間の平等を促進。
- 市民社会やコミュニティ (特に女性, 若者) との連携
- 戦略的コミュニケーションの重要性を強調

行動3: 能力構築

- 援助調整の改善, 及びグローバル・テロ対策フォーラムのイニシアティブによる調整メカニズムの進展を支持。
- 関連国際機関等に対する一層実効的なテロ対策の能力構築プログラム作りの呼びかけ。
- アジアを含むテロの影響を受けている地域における G7 間の協力促進。 (了)